

番号	3	事業名	砂防	市町村名	筑北村	路河川名	(砂)生金沢	箇所名(ふりがな)	熊の入(くまのいり)			
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○上流域に崩壊地や倒木が多数存在し、不安定土砂・倒木が溪床に堆積している。</p> <p>○平成16年の台風23号による豪雨で土石流が発生したことから、平成16年度災害関連緊急砂防事業、平成17～18年度特定緊急砂防事業に着手し、支川に砂防堰堤工1基を整備。</p> <p>○平成18年度通常砂防事業に着手し、本川に砂防堰堤工1基、本川及び支川に溪流保全工を整備し、平成27年度事業完了。</p>						事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価			
	<p>○平成16年の台風23号による豪雨で土石流が発生したことから、平成16年度災害関連緊急砂防事業、平成17～18年度特定緊急砂防事業に着手し、支川に砂防堰堤工1基を整備。</p> <p>○平成18年度通常砂防事業に着手し、本川に砂防堰堤工1基、本川及び支川に溪流保全工を整備し、平成27年度事業完了。</p>						<p>○植生吹き付けに現地種子を採取・配合し環境変化を最低限に抑えている。</p>		B			
事業目的	○上流域に不安定土砂及び倒木が多数存在するため、砂防堰堤工及び溪流保全工を整備し、下流域の人家、村道、JR篠ノ井線等を保全する。						施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価			
事業概要	当初工期	H18～H24	費用対効果(当初時)	1.12	事業費(千円)	財源内訳(千円)				③施設の維持管理状況	<p>○施設周辺の草刈りを地域住民が実施している。</p> <p>○毎年、点検・パトロールを実施している。</p>	A
	最終工期	H18～H27	費用対効果(評価時)	1.00	上段:当初/下段:最終( )は国補事業分以内	国庫	その他	県債	一般財源			
	当初計画内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基(H=12m L=80m) 溪流保全工 L=693.7m			522,000	261,000		208,800	52,200	④地域住民等の評価	<p>地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)</p> <p>施設整備に対し、以下のとおり地域から評価を得ている。 (筑北村役場) ○16災で冠着駅の浸水等の被害を受けているため、地域の安心への満足度は非常に高い。 (大野田地区常会長) ○砂防堰堤建設後は、大雨時でも土砂流出の心配がなくなった。 ○砂防事業により流路も整備されたことで、無堤箇所(洗堀等)もなくなり、農地浸食が押さえられ農地の保全や下流への土砂流出もなくなったので、当該事業には感謝している。</p>	A
	最終事業実績(主な工種)	砂防堰堤工 1基(H=12.5m L=115.3m) 溪流保全工 L=712.3m			695,569	347,785		278,228	69,557			
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>○砂防堰堤基礎部の地質が想定よりも悪く砂防ソイルセメント工法での置換が必要となり、その設計及び施工のため事業期間が延長となった。</p> <p>○当初は本川及び支川の同時施工を計画していたが、進入路である村道の混雑回避のため各溪流ごとの施工となり事業期間が延長となった。</p>						改善措置の必要性		なし			
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>○置換基礎の増、また、詳細設計に基づく施設規模の増により事業費が増加した。</p> <p>○事業計画策定においては、事前調査を十分に行う必要がある。</p>						改善措置の必要性		なし			
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)				評価		<p>【事業の有効性】 ○砂防堰堤工及び溪流保全工の整備により、その後土砂災害による被害はない。</p> <p>【事業の必要性】 ○近年、豪雨による土砂災害が多発。土石流危険溪流の整備率は約2割と低く、事業の一層の推進が求められている。</p> <p>【地域の合意形成】 ○地域との合意形成をもと、景観・環境等を踏まえ決定していくことが必要。</p> <p>【ソフト対策の推進】 ○令和元年東日本台風災害、令和2年7月豪雨等を踏まえ、地域防災力の向上に資する住民主体の取組などのソフト対策と、ハード対策を一体的に進める必要がある。</p>					
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>○災害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人家6戸</li> <li>・JR篠ノ井線、村道750m</li> <li>・農地2.3ha</li> <li>・整備後、土砂災害による下流への被害はない</li> </ul>				A						
間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	○生活環境・自然環境への影響						建設部公共事業評価委員会の意見		事業の実施により安全性が確保されていることから、事業の目的を達成しており、地域住民の評価が高いなど総合評価Aが妥当と判断する。	総合評価	A	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の安全安心度の向上</li> <li>・現地発生材の利用により自然環境への影響に配慮</li> <li>・事業を実施したことにより、地域住民自らが施設周辺の草刈りを行う等防災意識の向上につながった</li> <li>・地域間を連絡する交通機関が保全されたことにより、住民の安全な日常生活及び観光産業の活性化が図られた</li> </ul>						長野県公共事業評価委員会の意見		建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。	県の評価案	妥当	
										評価監視委員会意見	妥当	
										評価の決定	A	